

熱心な祈り

「同じように御霊も、弱い私たちを助けてくださいます。私たちは、何をどう祈ったらよいかわからないのですが、御霊ご自身が、ことばにならないうめきをもって、とりなしてくださるのです」

(ローマ8:26)

「ペテロは牢に閉じ込められていたが、教会は彼のために、熱心な祈りを神にささげていた」

(使徒12:5)

ペテロのために、教会は熱心に祈り続け、神様は答えられました。次に注目したい点は「熱心に」ということばです。神様は人の心を見られ、自分の力や知恵に頼らず、全能の神様の助けを熱心に求める祈りの人を喜ばれ、答えて下さいます。

主イエス様は十字架の救いを通して、全能の父なる神の子とされた私たち、「あなたがたがわたしの名によって求めることは何でも、それをしましょう」(ヨハネ14:13) と約束して下さいます。私たちは大胆に、熱心に神様に近づくことができます。

聖書の学び

I、熱心さの意味

1、「熱心に」という言葉の意味について、見てみましょう。

①「熱心に」	(㊄)エクテネース) = 張り、広がる	} 強烈な願望を、張り広げた魂の姿
	(㊄)インテンスリー) = 強烈	

②この「熱心に」という言葉は、ゲッセマネの祈りに表されています。

- ・「イエスは苦しみもだえて、いよいよ切に祈られた。」(ルカ22:44)
- ・「キリストは … 大きな叫び声と涙をもって祈りと願いをささげ、その敬虔のゆえに聞き入れられました」(ヘブル5:7)

③パウロもローマの教会の信徒たちに語っています。(ローマ15:30)

「私とともに、力を尽くして、神に祈ってください」

(㊄ストライプ) : 共に競う という意味…祈りの中に全身全霊を打ち込む、
必死の勢いと意欲をもって神に迫る祈り

2、私たちの祈りは、心を注いだ、熱心な祈りでしょうか。

Ⅱ、聖霊によって祈る

(ローマ8：26)

1、熱心な、真剣な祈りは、どのような時にするのでしょうか、聖書から見ましょう。

①困難に遭い、そこからの解決・解放を求めるとき。

出エジプト33章：シナイ山の麓でのモーセの祈り。

②憂えなければならぬ事柄に遭遇するとき

ダニエル書9章：解放の約束の時70年が迫っているとき、断食して祈るダニエル。

③霊的な成長を求め、自分の魂が探られ、神様と対峙するとき

創世記32章：ヤコブは一人神と格闘した。…腿のつがいを外されても神様を放さなかった。

2、主イエス様の十字架の贖いにより罪赦された私たちも、熱心に祈るなら、神様に答えて頂くことができます。

3、私たちが祈れないときでも、ご聖霊は必死に祈る者に力を与え、祈らせてくださいます。(ローマ8：26)

まとめ

ご聖霊は、切実な必要のために祈る者の祈りに力を与え助けてくださる。